

災害に強いまちづくりに 自動販売機？

新しい時代の防災のカタチ

関西大学社会安全学部は設立10年目となり、高槻ミュージズキャンパス公開講座も今回で30回目となりました。
今回は「災害に強いまちづくりに自動販売機？ 新しい時代の防災のカタチ」を総合テーマに、
既に実現している防災に役立つ情報技術をご紹介しますとともに、社会に普及させる為の課題や道のりを考えます。
また、阪神・淡路大震災からの25年を振り返り、私たちが災害による犠牲を出さないために
何ができるようになり、何ができないままなのかを考え、30年後、50年後に向けて、
これから注力すべき取り組みについて展望します。

日時

2019年
11月16日 土

10:00～13:00(開場・受付 9:30～)

会場

関西大学 高槻ミュージズキャンパス
西館 M602教室

大阪府高槻市白梅町7番1号

受講料
(資料代)

500円

定員

100名

対象 **一般市民**

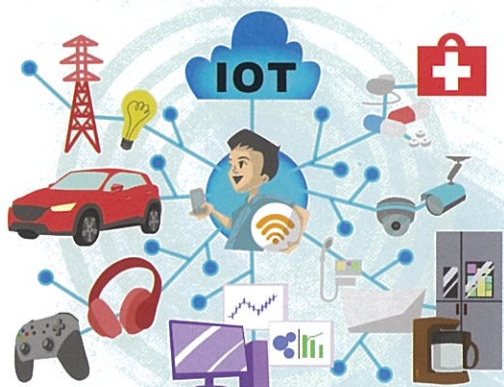
講演

1

10:00～11:30

**命を救う情報技術を
社会実装するには**

株式会社 aLab
代表取締役社長 荒木 正之



講演

2

11:30～13:00

**国難災害への救世主は
あなたの会社かもしれない**

関西大学社会安全学部
准教授 奥村 与志弘



講演

1

10:00

11:30

命を救う情報技術を社会実装するには

株式会社 aLab 代表取締役社長 荒木 正之

IT (Information Technology : 情報技術) やIoT (Internet of things : モノのインターネット) という言葉を耳にしたことはありませんか? センサーが集めたデータから役に立つ情報を生み出そうという技術です。これらの技術が私達の生活を豊かにしていることは間違いありませんが、こと防災分野においてはまだまだ発展途上の段階です。防災に役立つ情報技術とは? 既に実現している技術をご紹介しますとともに、社会に普及させる為の課題や道のりを一緒に考えましょう。

講演

2

11:30

13:00

国難災害への救世主はあなたの会社かもしれない

関西大学社会安全学部 准教授 奥村 与志弘

阪神・淡路大震災から25年。私たちの社会は以前よりも災害に強くなりました。しかし、昨年の大阪北部地震や西日本豪雨など、まだまだ災害による犠牲が後を絶ちません。また、この先、南海トラフ巨大地震や首都直下地震など、国難災害クラスの災害による脅威と向き合って生きていかなければなりません。

本講座では、阪神・淡路大震災からの25年間を振り返り、私たちが災害による犠牲を出さないために何ができるようになり、何ができないままなのかを考えます。そして、30年後、50年後に向けて、これから注力すべき取り組みについて展望します。国難災害への救世主はあなたの会社かもしれません。

※事情により内容に変更が生じる場合があります。

申込み方法

関西大学高槻ミューズオフィス

電話またはインターネット専用ページでお申込みください。

◎ 電話 : 072(684)4000 (平日 / 10:00~16:00)

◎ 「関西大学社会安全学部」ホームページの「公開講座(第30回)開催のお知らせ」からお申し込みください。

(URL) http://www.kansai-u.ac.jp/Fc_ss/

受付期間

2019年10月16日(水)~11月15日(金)

平日 10:00~16:00

※定員になり次第、申込み受付終了

受講料

500円 (資料代として当日、受付にてお支払いください)

お願い

- 車やバイクでのご来場はご遠慮願います。公共交通機関をご利用ください。
- キャンパス施設内は、全面禁煙です。ご協力をお願いいたします。

問合せ

関西大学 高槻ミューズオフィス

TEL. 072(684)4000 [月~金 9:00~17:00]

会場

関西大学高槻ミューズキャンパス 西館 M602教室



JR高槻駅から徒歩約7分 阪急高槻市駅から徒歩約10分